

こころ日記「ぼちぼち」 その②

「職場体験学習」

中学校では、今も教育カリキュラムに位置づけられていますが、「職場体験」という学習があります。どの学校もだいたい2学年で実施しますが、私自身も何回もその学習に取り組みました。

実施時期は学校によって異なりますが、一週間、地域にある様々な職場で仕事の体験をさせてもらう学習です。

「職場体験学習」の始まりは、阪神・淡路大震災の教訓からと聞いています。災害の中で、中学生の存在は大きく、色々な場面で人道支援ができる力があると言われていました。学校での消防署の避難訓練時では、消防士から「君たちは、災害時では地域の大切な力となれる」と何度も話の中に出てきました。地域で生活するのですから、職場体験などで日ごろから繋がっておくことは、何かの時にも大切なことなのですね。

仕事場探し

職場体験をさせてもらう仕事場をさがすのは、教員の仕事です。それって教員の仕事？とっていましたが…。とても負担の大きい業務です。

多い時は100件近い仕事場を見つけなければなりません。

2年生担当になると、4月当初から放課後や授業の合間に、地域の職場訪問をします。毎年のことだからと快く引き受けてくれる事業所がほとんどですが、たまに断られることもあります。その理由は色々ですが、近年多いのは、人手不足で中学生の面倒を見られない。

小売店などは、お客さんも少なく、仕事がないなどです。時々去年の生徒の態度が悪くなかったというのもあります。

事業所の職種は、大きく分けて、製造業、教育、福祉施設、大手飲食チェーン、ホームセンター、小売店、総合病院、など。

税理士事務所をお願いしたこともありますが、守秘義務的なことが心配でした。

まず生徒たちにアンケートを取り、できるだけ希望通りに割り振っていきます。

生徒の日頃の人間関係など、この割り振りが一番の悩みで時間がかかる仕事でした。それぞれの事業所からの要望や、どんな仕事をさせてもらえるのか？人数は何人可能か？などを確認します。

生徒たちの一番の人気は、スーパーや大手飲食チェーン店。美容院、幼稚園、保育園も人気です。希望が少ないのは、福祉関係です。介護施設や障がい者施設など。



事業所の苦勞

職場体験の受け手である様々な事業所では、中学生ができる仕事の内容など考えなくてはなりません。危険な仕事はさせられません。大変だろうなと思います。

あらかじめ事業所の担当者が、活動計画を立ててくれていることは、とても有難かったです。事業所にとって、思春期の難しい年頃の中学生を受け入れることは、覚悟

がいります。私たちとしては、感謝しかありませんでした。

仕事の内容は、スーパーであれば、品出しや陳列。ホテルならば、鍋磨き、障子貼り、ベッドメイキングといった仕事でしょうか。

活動の条件として、飲食店の中には、事前に検便を要求されることがあります。衛生面では厳しさが求められます。検便提出のハードルが高いため、生徒が躊躇する場面もありました。他には、髪の毛をくくる、爪は切っておく、言葉遣いに気をつけるなどなど…。なかには、性別を問われることも。女の子がいいとか（なぜに？）

厳しい条件もありますが、「働かせてもらうのだから」と、生徒たちを説得します。

とは言え、長い目でみれば、将来の顧客になるかもしれない子どもたちです。また、仕事の選択肢が広がるきっかけとなることもあるでしょう。地域のものづくりの継承へと繋がることも。

大抵の事業所では、中学生の面倒をよくみてくれました。それなりに成長して戻ってきた子ども達を見るとよくわかります。

体験からの繋がり

長い間通っている美容室があります。もうかれこれ30年以上になります。親から子へと通い、今や私たち親子にとってはなくてはならない美容室です。オーナーとは、独立する若き時代からの付き合い。30年変わらないこじんまりとした清潔感のある店の雰囲気が入っています。そんなに広くない店内は、いつも常連客で賑わい、知らない人同士の会話も弾んでいます。

当時担任をしていた男子のデカオくん。第一希望ではなかった美容院に行くことになりました。もう20年程前になるでしょ

うか。

なかなか事業所が見つからず困っていた私を助けるために、オーナーは「初めてやから、心配やけど…」と言いながら、彼の体験を受け入れてくれました。

美容院の仕事は、挨拶をする、タオル干し、床の髪の毛を掃く、カーラーを洗うなどです。野球少年のゴツゴツした体のデカオくん。狭い美容室では、とても目立ちました。オーナーは、根っから明るく優しい人柄。よく働く彼に、昼食にはハンバーグ、てんぷらなどのご馳走をしてくれていたようです。

初めは気乗りしなかったデカオくん。オーナーはじめ従業員のフォローで、無事に一週間の体験を終えることができました。

随分後になってオーナーから聞かされたことですが、彼は体験の最後の日に、

「大きくなって働くようになったら、自分のお金で髪を切りに来ます」と言って帰っていったそうです。



先日美容室で、「この前デカオくん、来たよ」と聞きました。彼は約束通り、就職をしてからずっと、髪を切りに来ているそうです。たまに私のことを「先生、元気ですか？」と言って尋ねるようですが。

出会うことはないのですが、しっかりと社会人になっていることが嬉しくもあり、この繋がりが続くといいなと思っています。

つづく